

償却資産申告書の記載方法

平成 年 月 日 鴻 栄 市 長 あ て		平成 年度 償 却 資 産 申 告 書 (償 却 資 産 課 税 台 帳)			※ 所 有 者 コ ー ド	
所 有 者 1 (ふりがな) 住 所 又は納税通知書送達先 2 (ふりがな) 氏 名 法人にあつては、その名称及び代表者の氏名	〒 【1・2住所・氏名】 住所、電話番号・氏名を正確に記載し、ふりがなを付して押印してください。 屋号があれば記載してください。 所有者が法人の場合、その名称及び代表者の氏名を記載し、社判及び代表者印を押印してください。		【3事業種目】 事業内容を具体的に記載してください。また、法人の場合、資本金等の金額も記載してください。 【4事業開始年月】 個人の方は事業を開始した年月を、法人にあっては設立年月を記載してください。		3 事業種目 (資本等の金額) _____ (百万円)	7 短縮耐用年数の承認 有・無
					4 事業開始年月 _____	8 増加償却の届出 有・無
					5 この申告に回答する者の係及び氏名 _____	9 【7～13】 各項目の有無等について、該当する方を○で囲んでください。
				6 税理士等の氏名 _____	【5申告应答者】 申告事務の担当者氏名及び連絡先の電話番号を記載してください。 【6税理士氏名】 経理を委託している税理士等の氏名・電話番号を記載してください。	10 _____
資産の種類		取 得 価 額			11 特別償却又は圧縮記帳 有・無	
		前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計(イ)-(ロ)+(ハ)(ニ)	12 税務会計上の償却方法 定率法・定額法
1	構 築 物	【前年前に取得(イ)】 昨年までの申告に基づいて印字しております。 初めて申告される方は、記載の必要はありません。		【前年中に取得(ハ)】 前年中に取得した資産の取得価額を種類別に合計して記載してください。		13 青 色 申 告 有・無
2	機 械 及 び 装 置					① 【14資産の所在地】 市内にある事業所等の所在地を記載してください。また、複数ある場合は、各々記載し、主たる所在地を○で囲んでください。 「1住所」と同一の場合には、本欄の記載の必要はありません。
3	船 舶					
4	航 空 機					
5	車 両 及 び 運 搬 具	【前年中に減少(ロ)】 前年中に減少した資産の取得価額を種類別に合計して記載してください。			【計(ニ)】 (イ)-(ロ)+(ハ)によって算出した取得価額の合計額を、資産の種類別に記載してください。	14 市(区)町村内 における事業所等 資産の所在地
6	工 具 ・ 器 具 及 び 備 品					15 借用資産 (有・無)
7	合 計					貸主の住所・名称等 【15借用資産】 該当する方を○で囲み、借用資産がある場合は、貸主の名称、住所等を記載してください。
					16 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家	
					【16事業所用家屋の所有区分】 該当する方を○で囲んでください。	
		資産の種類	評 価 額	決 定 価 格	課 税 標 準 額	17 備考(添付書類等)
		1 構 築 物				【17備考】 ※該当する資産がない場合は、「該当資産なし」 ※資産の増減がない場合は、「増減なし」 ※解散・廃業・休業等の場合は、「廃業(休業)年月日」を記入する。 ※前年中に住所・氏名又は名称等に変更があった場合は、異動年月日・事由等を記入する。 増加償却の届出書の写し等添付した書類の名称。また、住所、氏名、名称等の異動年月日等、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となる事項を記載してください。
		2 機 械 及 び 装 置				
		3 船 舶				
		4 航 空 機				
		5 車 両 及 び 運 搬 具				
		6 工 具 ・ 器 具 及 び 備 品				
		7 合 計				

第二十六号様式